



湾岸・アラビア半島地域ニュース

クウェイト：湾岸有事を想定した対応

(8月6日付現地各紙)

6日付現地各紙は、イラン核開発疑惑に端を発する米・イラン間の緊張の高まりを懸念するクウェイトでの動きについて報じている。

1.4日、ジャファリ・イラン革命ガード総司令官が（イランが攻撃を受けた際）イランの武力をもってすれば無制限のホルムズ海峡封鎖は極めて容易であると発言したことに対し、5日、ムハンマド外相は、「GCC諸国はこれまでイランによる原子力の平和利用の権利を支持してきた。またイランに対するいかなる軍事攻撃にも反対してきた。にもかかわらず、そのような発言でGCC諸国を心配させる意図はわからない」とイランを批判した。

2.複数の国民議会議員は、イランに対する軍事攻撃に反対すると表明。一方イランによるホルムズ海峡封鎖脅迫をたしなめ、政府に対して有事に備えた緊急事態対策を準備するように求めている。

3.政府は、情報筋より、有事対応として2隻の米空母が湾岸及び紅海に配置されるであろうとの情報を入手し、総合緊急事態対応計画の策定を急務としている。